

令和元年度 第3回 賀茂地域医療構想調整会議 議事録

日時：令和2年2月19日(水)

午後6時30分～7時30分

場所：下田総合庁舎 2階 第3会議室

○議 題

1 医師確保計画

2 外来医療計画

【質疑応答】

伊豆今浜病院 小田院長	・資料2の外来医療計画には病院の医師数は含まれているのか。
賀茂保健所 本間所長	・診療所のみである。
西伊豆健育 会病院 仲田院長	・静岡県東部の医師数を増やすには、修学資金貸与の義務を強化するべきではないか。 ・毎月20万円の貸与を行っているため、勤務先等を指定するなどしても良いのではないか。
賀茂保健所 本間所長	・来年度の入学生から、6年貸与し、9年の勤務先指定を義務付けるという話を聞いている。
浜松医科大学 竹内准教授	・令和2年度からの入学生に関する制度変更は2点ある。 ・1つ目は、全国の地域枠は、全て別枠入試になること。6年の貸与と9年の義務年限があり、その内の4年間は医師少数区域に勤めることが決められている。 ・静岡県の医師少数区域には、賀茂、富士、中東遠が該当するため、地域枠で入学した学生は9年間のうち少なくとも4年間は当該地域に勤務することになる。 ・いずれにしても、適用されるのは今度の4月に入学される学生が臨床研修を終えて以降となるので、8年先のこととなる。 ・2つ目は、静岡県独自の奨学金制度があるため、その辺りはまた県から通知があると思われる。 ・折角なので、賀茂地域の数字を簡単に説明させていただく。 ・資料の3、28ページに該当する部分であるが、2018年の人口10万人対の静岡県医療施設従事医師数の推移は210.2人であり、賀茂地域は156.9人である。 ・診療所の開業医と病院の勤務医を分けて検討するべきではないかということが県の会議で話題となるが、静岡県の病院勤務医は133.7人であり、賀茂地域は88.1人である。およそ7割弱といえる。 ・診療所開業医でいうと、静岡県は76.5人、賀茂地域は68.9人であり、約9割である。 ・人口10万人対で見るといかにも改善しているように見えるが、賀茂地域は人口減少地域であるため、実際には厳しい状況に変わりはない。 ・平成20年から10年間のデータを見ると、10年前は診療所開業医が多かったが、平成30年には病院勤務医の方が多くなっており、逆転現象も起きている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・富士の地域医療構想調整会議では、医師数だけでなく、診療科別もしっかり見るべきではないかということで診療科の偏在も話題として挙げた。 ・賀茂地域としては、フルセットで診療科を揃える必要があるのか、それとも、色々な診療科目を診れる先生が必要ではないかといった点に関しては、このあとの研修会で井上先生からお話していただけたらと思う。
賀茂医師会 池田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の受験数が減っているとあるが、県外の受験者も含まれているのか。
賀茂保健所 本間所長	<ul style="list-style-type: none"> ・含まれていない。
賀茂医師会 池田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県東部も県外の高校に進学している学生もいるので、その辺りも加味していただければ。 ・様々な問題があるが、静岡県医師確保計画では2036年まで計画されているが、西伊豆町でいえば2040年には現在の人口の3分の1になると言われている。賀茂地域も恐らく半分近くの人口が減ると思うが、人口の変動に合った医師数の計画になっているのか、教えていただきたい。
地域医療課 秋山課長	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少と医師の年齢、圏域の人口流出入を加味して、国が偏在指標を算定している。

【協議結果】 議題 1、2 ともに案のとおり承認

3 公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証について

【質疑応答】

西伊豆健育 会病院 仲田院長	<ul style="list-style-type: none"> ・再検証対象医療機関に、伊豆赤十字病院と中伊豆温泉病院が入っているが、これらの病院は廃止になるのか、それとも統合されるのか。
医療政策課 山本副班長	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省は再編統合と言っているが、ただちに病院を廃止、統合するというものではない。 ・機能転換やダウンサイジング、地域の医療需要に合わせた医療提供のあり方を考えてほしいということである。
西伊豆健育 会病院 仲田院長	<ul style="list-style-type: none"> ・この2つの病院から、異論は出ていないのか。
医療政策課 山本副班長	<ul style="list-style-type: none"> ・個別訪問している中では、地域の医療需要を捉えた役割を整備しているので、今回指摘があったことは認めるが、それを受けてすぐにどうするというのは考えていない、という話があった。

【協議結果】 案のとおり承認

4 下田メディカルセンター病床減少と言語聴覚室運用計画

【概要説明】

下田メディカルセンター 畑田院長	<ul style="list-style-type: none">・当院は本来、急性期が一番のミッションであるが、この地域は慢性期についても医療機能が欠如しているということで、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病床と、順次取組みをしているところである。そのような中で、リハビリにも注力しており、これまでST（言語聴覚士）を募集していたがなかなか採用に至らず、苦慮してきた。今回、4月1日付けで言語聴覚士を1名採用できることになったので、リハビリの機能強化として体制整備をしているところである。・言語聴覚療法の場合は専用の8㎡以上の療法室が必要ということで、院内の色々な施設を検討したがそれに見合うスペースが確保できず、病床を減らさざるを得ない決断となった。具体的には、3階の3B病棟、回復期リハビリテーション病棟39床のうち2床部屋1室を、言語聴覚室に転用したい。結果、回復期リハビリテーション病棟は37床にやむをえず減床する。・言語聴覚室の具体的な運用については、資料の現状、設置目的をご覧いただきたい。患者総定数については、毎日4～5名を想定している。・修正数については、公的医療機関等2025プランの修正も必要となるので、資料45ページ以降にダイジェスト版を載せている。・またこの際、プランの修正に合わせて、現在16の標榜診療科の中の神経内科について、専門医の確保の予定が立たないということ、また、専門学会でも、神経内科から脳神経内科に名称を統一させるという方向もあることから、診療実態に合わせ、神経内科の標榜課を削減することとした。・なお、当院は一部事務組合が設立する病院である。今回の変更については、昨日組合の議会において、組合の議決をいただいている。
---------------------	---

【協議結果】案のとおり承認

5 静岡県保健医療計画に掲載する医療機関情報の更新

【協議結果】案のとおり承認

○報告（地域医療介護総合確保基金）

【質疑】なし

○その他（会議全体を通して）

【意見】

賀茂医師会 池田会長	<ul style="list-style-type: none">・この地域は、医師確保、偏在と色々な問題があるが、先ほどの説明にもあったように、専門医の問題も出てきている。・この地域は、継承が成り立たない。若い先生が帰ってこない。恐らく、専門医制度の中で病院で働いていると思われるが、そのような先生がなかなか帰れない状況がある。・その辺りも考慮していただいて、県も含めて会議を進めていただきたいと思います。
---------------	---